

## 令和5年度指定管理者募集方針検討に関するサウンディング型市場調査の結果概要

令和5年度の指定管理者募集方針検討に関して、民間事業者さまから広くご意見等を伺うサウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果概要を公表します。

### 1. 実施内容

令和4年12月1日

実施要領等の公表

令和4年12月19日～令和5年1月13日 個別対話の実施

### 2. 対象施設

- 地域産業交流支援館（メディア交流館、みどり蒼生館、小岱工芸館）
- 旧万田坑関連施設（旧万田坑施設、万田坑ステーション、万田炭鉱館）
- 荒尾総合文化センター

### 3. 参加事業者数

8社（うち、共同参加企業が1社有り。）

- 地域産業交流支援館…4社
- 旧万田坑関連施設…2社
- 荒尾総合文化センター…4社

※複数施設へ参加した事業者もあるため、各施設の参加者数はこのべ数となります。

### 4. 個別対話の結果概要

個別対話において、各事業者からいただいたご意見等の概要は以下のとおりです。なお、各事業者のノウハウが含まれると思われる部分等については、非公開としています。

○対象施設の管理運営における市場性（公募への参加意欲）

■ 地域産業交流支援館（メディア交流館、みどり蒼生館、小岱工芸館）

参加を積極的に検討したいと回答したグループもありましたが、施設規模・予算規模の面で厳しいと回答したグループもありました。

■ 旧万田坑関連施設（旧万田坑施設、万田坑ステーション、万田炭鉱館）

前向きに検討したいとの回答もある中、予算、事業、人員配置面等で条件が合えば検討したいとの回答もありました。

## ■ 荒尾総合文化センター

前向きに検討したいとの回答もある中、予算、事業、人員配置面等で条件が合えば検討したいとの回答もありました。

### ○民間事業者から見た対象施設の課題やポテンシャル

#### ■ 地域産業交流支援館（メディア交流館、みどり蒼生館、小袋工芸館）

- ・施設予約のシステムや決済のシステム等、利用者の利便性を向上させないと利用者数は増えないのではないかと。
- ・設置目的を踏まえつつも、時代に合わせた柔軟な自主事業ができるようになると良い。
- ・コロナ対策品の価格も上がっており、指定管理料への経費としての算定を期待したい。
- ・一括募集で、自主事業をさらに実施できるようになる可能性がある。

#### ■ 旧万田坑関連施設（旧万田坑施設、万田坑ステーション、万田炭鉱館）

- ・魅力的な自主事業の展開で収益アップは十分に達成できる。
- ・集客のターゲットをもっと明確に打ち出すと、より効果的な手法を検討できるのではないかと。

#### ■ 文化センター

- ・ホールの質が高く、規模も大きいため、効果的な自主事業を実施できれば利用者の増加はできる。
- ・DX化（電子決済等）の検討について仕様書に記載のある自治体も増えてきている状況である。

### ○公募条件（応募資格、仕様書、指定管理期間、指定管理料等）に関すること

#### ■ 地域産業交流支援館（メディア交流館、みどり蒼生館、小袋工芸館）

一括募集に関しては、予算、効率性、費用、人員配置の各方面で賛成多数でした。修繕費に関して、現状の仕様では指定管理者による効率的な修繕は厳しく、所管課の手間もかかるのではとの意見が多くありました。指定管理期間は、参加者全て5年が妥当との見解でした。

[その他の意見]

- ・公募時期（現在は7月上旬）を数日でも早めて他自治体と被らないようにすれば事業者が集まりやすい。

#### ■ 旧万田坑関連施設（旧万田坑施設、万田坑ステーション、万田炭鉱館）

指定管理期間は5年が妥当であるとの意見が多くありました。

## ■ 文化センター

指定管理期間は5年が妥当であるとの意見が多くありました。また、自主事業1,000万円以上支出の縛りについては削除して、「指定管理料のうち、自主事業に係る指定管理料として200万円を設定する」と記載した方が良いとの意見が多くありました。

[その他の意見]

- ・照明及び、舞台関係の資格の保持、かつ5年以上の経験を有する者を置く要件は、公募への参入障壁になっている。
- ・舞台業務等において、原則とはなっているものの人員配置に関する規定が細かいすぎるため、独自のノウハウを提案しづらい。
- ・公募時期を少しでも早めると、全国的に目立つので事業者が集まりやすい。
- ・自主事業の質を下げないためにも、照明、音響の技術者の資格保持はこれまでどおり募集要項に入れておいた方がよい。
- ・コロナに配慮したイベントの開催等が可能であることを仕様書等に記載してはどうか。

○公募時に市から提供してほしい書類・データ等

### ■ 地域産業交流支援館（メディア交流館、みどり蒼生館、小袋工芸館）

- ・各館の稼働率。
- ・ノウハウに該当しない部分の収支状況。
- ・過去の修繕履歴及び今後計画している修繕の内容。

### ■ 旧万田坑関連施設（旧万田坑施設、万田坑ステーション、万田炭鉱館）

- ・施設の稼働率、イベントの回数、入場者（利用者）の属性（性別・年齢等）。

### ■ 文化センター

- ・各清掃や点検等の個別仕様。
- ・コロナ後のものはあまり参考にならないので、それ以前の情報を開示してほしい。
- ・施設の稼働率、イベントの回数、入場者（利用者）の属性（性別・年齢等）。

○施設のサービス向上や効率的な維持管理に関する提案等

（民間事業者のノウハウに係る部分のため非公開とします。）

## 5. 今後の予定

多くのグループから参加があり、公募参加に意欲的な事業者も複数あることが確認できました。

万田坑関連施設や文化センター等は、ポテンシャルに期待する声もあり、市として当該施設に何を期待するかをより明確に打ち出して、指定管理者のノウハウを生かせ

る環境を作れるかが大切だと認識できました。

現状の仕様書等の見直しについての意見、ノウハウに該当しない情報の開示希望に関する提案も複数ありました。

今後は、本調査の結果等を参考に公募実施に向けて検討を進めていきます。

(※現時点では、6月下旬頃の公募開始に向けて検討を進めています。)

## 6. お問い合わせ先

担 当：荒尾市役所 総務部 公共施設マネジメント推進室

住 所：〒864-8686 熊本県荒尾市宮内出目 390 番地

電話番号：0968-57-7160 FAX：0968-57-7139

Eメール：koukyou@city.arao.lg.jp